





キッズサポートスクール指導資料 小学校2年生「ひとのものをとる」

(ねらい)

身近な問題から物事の善悪を考えさせ、軽率な行動が相手やその家族を悲しませてしまうことがあることを理解させる。

(学習活動)

パネル等		内容と指導のポイント
導 入		サポーター紹介、本時の目的の確認
紙 芝 居 パ ネ ル を 使 っ た 学 習	<p>ひとのものをとる</p>  <p>パネル ①</p> <p>はちろうくんは、あそびに来たボクにゲームソフトやおもちゃをじまんしています。ボクはうらやましくなりました。</p>	<p>○ほしい気持ちと、その時どうするかを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自慢されたときの「ぼく」の気持ち ・自分が「ぼく」ならどうするか <p>を考える。</p>
	 <p>パネル ②</p> <p>はちろうくんがいなくなると、ボクはゲームソフトをそっとポケットに入れました。</p>	<p>○「とる」ということ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・してはいけないこと、きまりもあること ・ほしいものがあるときにどうするかを話し合う。 <p>貸し借りについて学校の指導方針があればそれに合わせた話をする。</p>
	 <p>パネル ③</p> <p>いえにかえり、とってきたゲームであそんでいると、おかあさんがかえってきていました。「そのゲームソフトはどうしたの？」</p>	<p>○正直に話すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正直に話すことの大切さを教える。 ・自分のことを思ってくれる家族存在に気づかせる。
	 <p>パネル ④</p> <p>ゲームソフトをぬすんだことがわかり、おかあさんはボクをつれて、はちろうくんのいえへあやまりにいきました。</p>	<p>○謝罪と「こころのブレーキ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪いと思ったときに謝罪する勇氣 ・自分のために謝ってくれる家の人の気持ち ・「悪いことはしない」という「こころのブレーキ」の大切さ <p>を教える。</p>
ま と め		学校・地域の実情に応じた話を入れながら、日常生活の中にある決まりを守り、人に対する思いやりの大切さを分かった上で、日常生活に生かしていくことの大切さを理解させる。

※授業終了後に児童のみなさんのアンケートをお願いします。

※保護者アンケートについては児童を通じて持って帰っていただき、回収をお願いします。

1週間程度を目安に回収をさせていただく予定です。